

人工知能を用いた内視鏡的膵胆管逆行性造影関連手技に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間： 2025 年 5 月 20 日 ～ 2028 年 3 月 31 日

〔研究課題〕

人工知能(AI)を用いた内視鏡的膵胆管逆行性造影(ERCP)関連手技におけるカニューレサポートシステムの研究

〔研究目的〕

AI にファーター乳頭の形や位置を学習させることで、従来は経験のある医師が行ってきたカニューレの難しさの判定をAIが行えるかどうかの検討を行います。

〔研究意義〕

ERCP 関連手技は十二指腸にあるファーター乳頭という胆道の出口にカテーテルを挿入するカニューレーションという操作から始まります。帝京大学医学部附属病院で既に行った ERCP 関連手技の動画を用いて、人工知能にファーター乳頭の形や位置を学習させることで、従来は経験のある医師が行ってきたカニューレーションの難しさの判定を人工知能が可能になれば、どのような経験値の医師でも適切なカニューレーションの方法の選択が可能となり、カニューレーションに関する ERCP 関連手技の偶発症の軽減が期待できます。

〔対象・研究方法〕

2017 年 4 月 1 日より 2024 年 12 月 31 日の期間に消化器内科で ERCP 関連手技を受けられた方で、記録された ERCP 関連手技の動画の一部を AI に学習させて、カニューレーションの難しさの判定が可能かどうか検討します。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部附属病院

〔個人情報の取り扱い〕

研究実施に係る情報等を取扱う際は、研究対象者の個人情報とは関係ない研究対象者コードを付して対照表を作成し、研究対象者のプライバシー保護に十分配慮します。対照表は適切に管理し、他の研究機関へ提供しません。情報等を研究事務局等の関連機関に送付する場合はこの番号を使用し、研究対象者の個人情報が院外に漏れないよう十分配慮します。共同研究機関への情報の提供はHTTPSサーバーを使って、暗号化したファイルのアップロードで行い、対照表を作った研究対象者コードを付した情報を用い、研究対象者の個人情報が院外に漏れないよう十分配慮します。また、研究の結果を公表する際は、研究対象者を特定できる情報を含めないようにします。研究の目的以外に、研究で得られた研究対象者の情報等を使用しません。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者:氏名 今津博雄

職名 教授

研究分担者:氏名 有住俊彦

職名 准教授

氏名 曾根雅之

職名 シニアレジデント

所属: 医学部内科学講座

住所: 東京都板橋区加賀2-11-1 TEL:03-3964-1211 (代表) [内線 7014]